

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科	看護科	商業科
特進コース	看護科	商業コース
普通コース		美容専科コース
健康福祉コース	看護専攻科	製薬衛生師コース
保育コース		
インターコース		
一貫コース		

特別伝道集会

11月6日(木)、2014年度特別伝道集会がありました。本校の建学の精神であるキリスト教を理解するための行事で、講師に六本松キリスト福音教会牧師兼福岡山栄光病院総院長兼理事長の折田泰彦先生をお迎えし、「十字架のゆるし」と題して講演をして頂きました。午後からは、3年生は協力牧師と共にさらに聖書について学び、1,2年生は「ソウルサーファー」の映画を鑑賞しました。

保育コース

特別授業

11月1日(土)、やかまし村文庫主宰の上村あつ子先生をお迎えして「たのしい読み聞かせ」の特別授業がありました。授業の中で「本はことばで出来ています。人は自分の持っていることばを使ってものを考える。ことばを豊かにすることは心を豊かに育てることです。読み聞かせは子どもたちのことばと心を育てます」と語り掛けていました。



講演中の田岡美江先生



文化祭

10月31日(金)、平成26年度文化祭がありました。今年度のテーマは“感孚風動(かんぷふうどう)”人の心を感動させ、感化することの意味で文科系クラブを中心に行われました。また、体育系のクラブは模擬店を出して盛り上げていました。



短期研修

韓国姉妹校訪問

10月20日(月)～24日(金)までの5日間、韓国の姉妹校である京花(キョウファ)女子高等学校と京花女子 English Business 高等学校への短期研修がありました。毎年、姉妹校を訪問して学校生活と寮生活において生徒たちと共に過ごし、親交を深め、お互いの文化・生活習慣を理解することを目的に8名の生徒が良き研修のときを過ごしました。

募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名／看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名／商業科 120名】

推薦入試要項

学 科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月21日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

一般入試要項

学 科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月28日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成27年 1月27日(火)	国語・数学・面接 特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成27年 1月29日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成27年 2月4日(水)	国語・数学・社会・理科・英語	平成27年 2月9日(月)

第4回学校見学会及び第2回保護者対象合同入試説明会

11月15日(土)、第4回学校見学会及び第2回保護者対象合同入試説明会があり、400名を超える多くの中学生や保護者の参加のもと行われました。今年度最後の学校見学会でしたが、来年度の入試の傾向と対策や各科コースの詳しい説明と盛り沢山の内容に中学生も進路選択に役に立ちましたと満足気でした。アンケートの感想には、「毎回、来るたびに“入学したい”という気持ちになりました」、「入試の説明が聞けてよかった」、「先輩たちの話が聞けて良かった」、「資料ではわからなかったことがたくさんわかりよかった」など好評を頂きました。



本校のイメージキャラクターの「もりおん」も参加してくれました。



在校生による合格体験と高校生活



創立者生誕110年記念礼拝

11月20日(木)、創立者生誕110年記念礼拝が、日本キリスト教会牧師の野木虔一先生をお迎えし、生徒・学生・教職員約1300名がパターンソンホールに集い創立者の建学の精神について講演をして頂きました。「光の子らしく歩きなさい」の学園聖句には、善意の人(人を思いやる)、正義の人(善悪を見極める)、真実の人(事実を事実として見ていく)を育てる人格教育と、職業人として経済的にも精神的にも自立できる職業教育をする想いで創立されたことを改めて考えさせられたときとなりました。

「草創期の黒田藩と栗山大善」黒田家と宇都宮家の抗争⑤

秀吉は争乱の沈静化を図るため、筑前名島城主小早川隆景等に肥後の救援に向かわせました。命を受けた官兵衛も城を長政に任せて、自ら兵を率いて肥後に向います。この肥後の大乱は同年十二月二十六日、首謀者であった隈府城主隈部親永の降伏によって終息することになります。この間の官兵衛の肥後在陣中の十月、長政から“城井谷の鎮房が兵を挙げた”との急報を官兵衛は手にします。鎮房は肥後一揆を挙兵の好機とみて、支配下にあった豪族たちに檄をとばして兵を集め、新領主黒田に叛旗を翻したのです。城井城は既に黒田の城代大村助右衛門が入っていましたが、田川の柿原を出た鎮房親子は大村助右衛門を追い出し城井城に入ります。この城井城は現在の築上郡築上町にあって城井谷の奥にあります。寒田(さわた)の鬼ヶ城と呼ばれて、四方岩石で囲まれた難攻不落の城です。父官兵衛の帰陣までには、なんとか決着を付けたいと考えていた長政は、十月、秀吉の命によって馳せ参じた毛利の援軍と共に城井城を攻めますが敗退、さらに、同年十一月、吉川広家の援軍一万の助勢を得て、自軍二千の軍勢と合わせて、数度にわたり攻撃を賭けますが落ちません。長政も戦中落馬するなど落命の危機に曝され、八六〇にのぼる多数の戦死者をだして、敗戦を喫し、馬ヶ岳城に逃げ帰る無様な戦をしています。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より